

令和3年度 青森市社会資本整備評価委員会

岡田橋橋梁整備事業

令和3年11月

青森市都市整備部 道路建設課

位置図



岡田橋の下流側に歩道橋新設

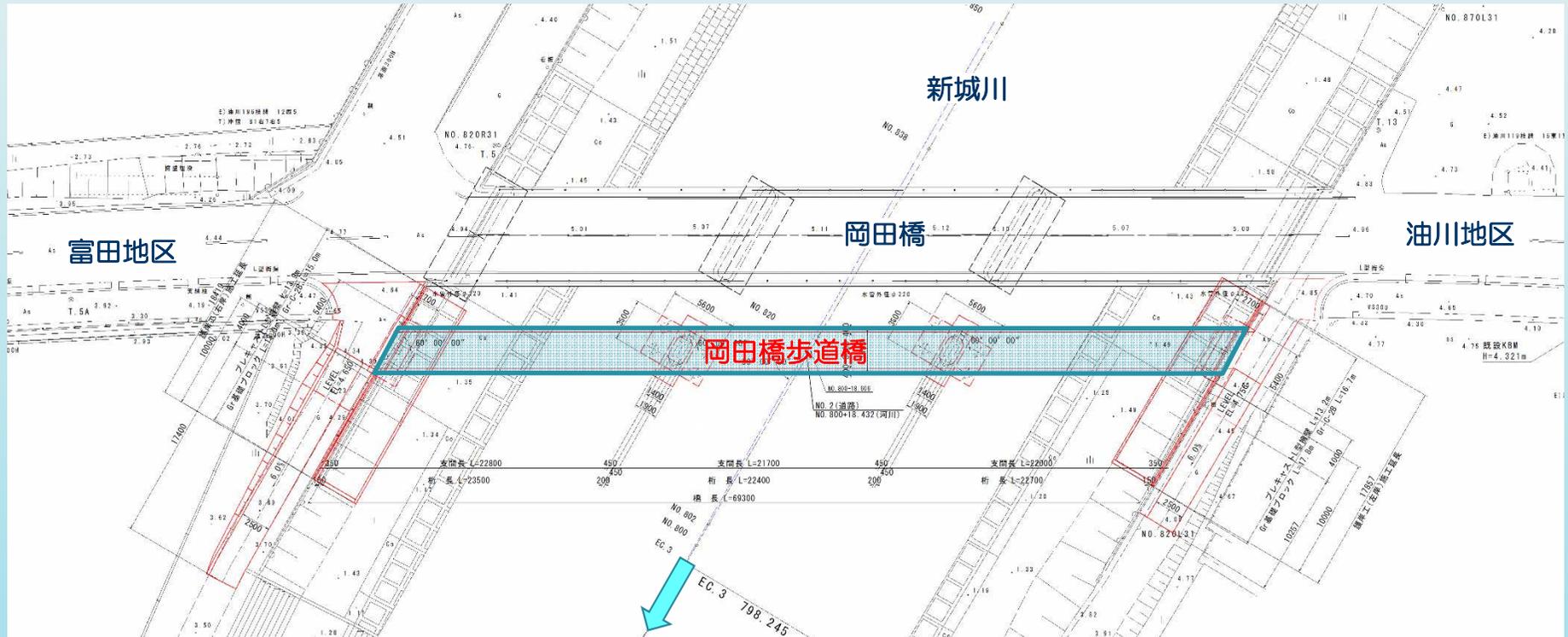


Googleマップ使用

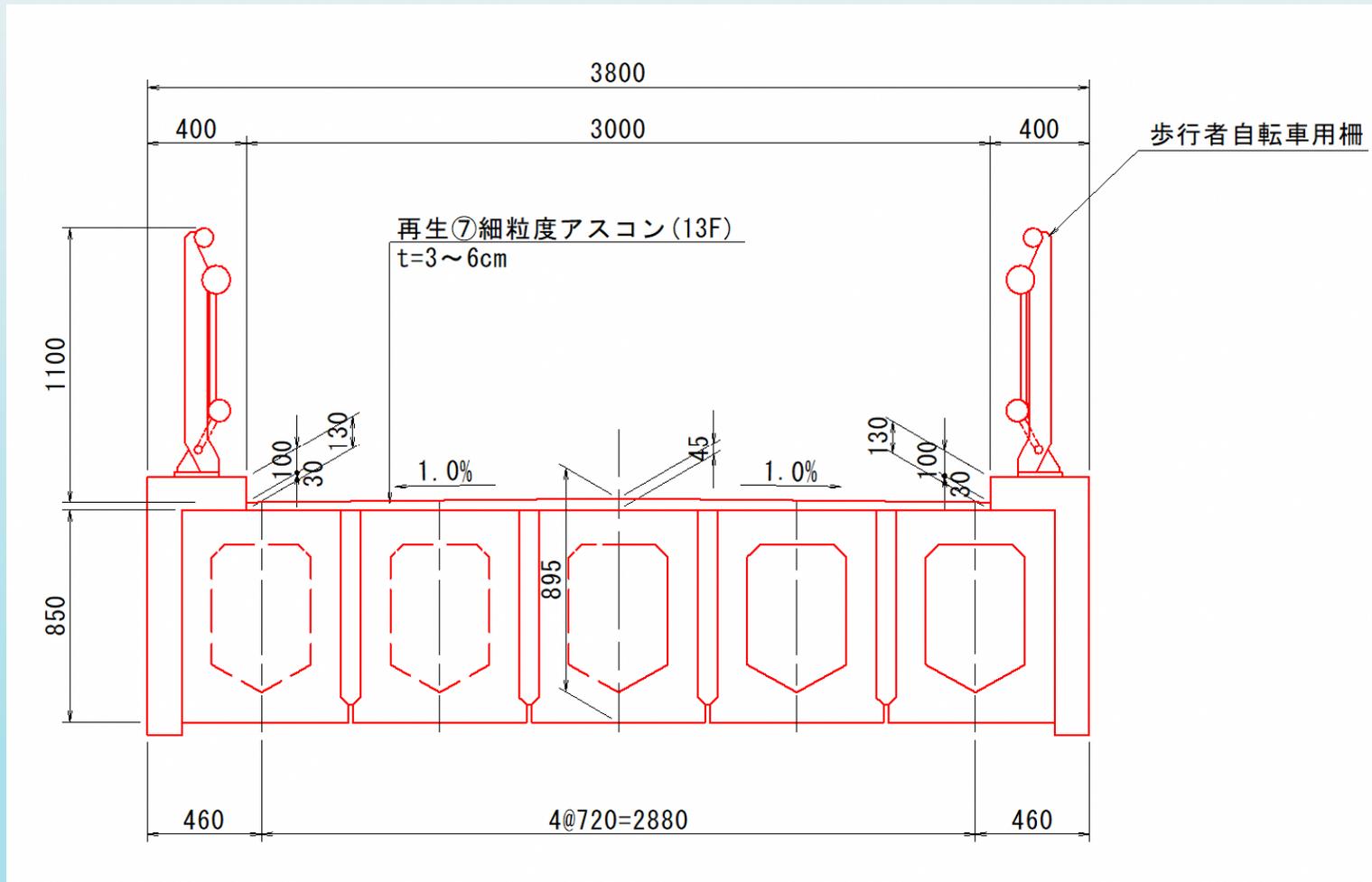
現況写真



平面図



標準断面図



事業目的

- ① 歩行者・自転車と自動車の分離による安全確保

これまでの状況

平成 28 年度 岡田橋歩道橋地質調査業務

平成 29 年度 岡田橋歩道橋測量業務

平成 30 年度 予備設計業務

平成 31 年度 地質調査業務

令和 2 年度 詳細設計業務

令和 3 年度 詳細設計業務

費用便益比 (B/C) について

道路の便益とは

- ① 走行時間短縮便益
- ② 走行経費減少便益
- ③ 交通事故減少便益

① 走行時間短縮便益・・道路整備により短縮された時間や車両を他の用途に活用することで得られる便益。

② 走行経費減少便益・・道路整備による燃費の向上により、ガソリン代やタイヤ等の摩擦損失等を軽減できる便益。

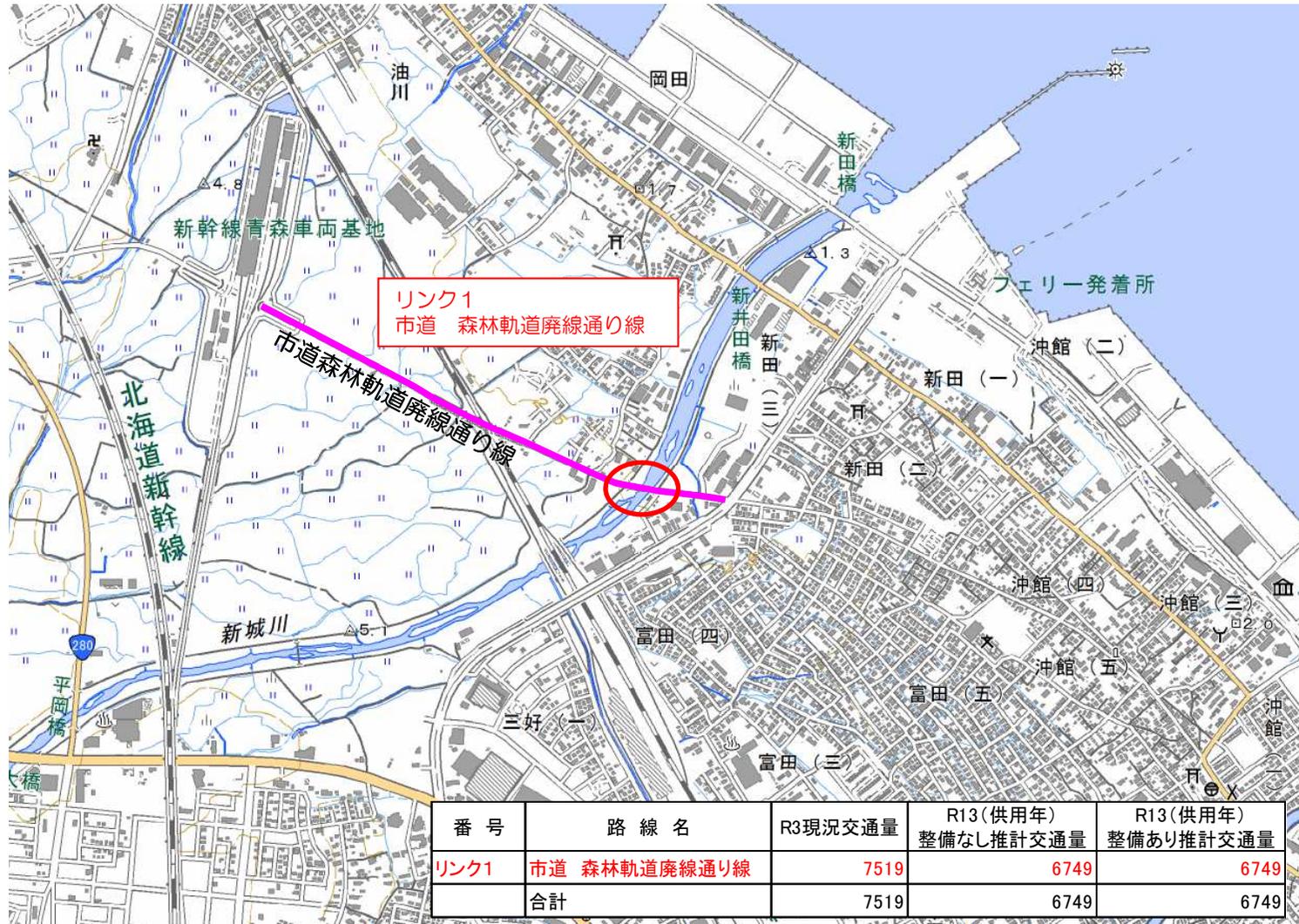
③ 交通事故減少便益・・道路整備により交通事故における社会的損失が、軽減される効果。

・費用便益比 (B/C) の算出方法

$$\text{費用便益比 (B/C) の算出} = \frac{\text{便益の現在価値}}{\text{費用の現在価値}}$$

・道路の便益には交通量が大きく影響する

推計交通量



費用便益の算出結果

• 費用便益比 (B/C)

$$\begin{aligned} \text{費用便益比(B/C)の算出} &= \frac{\text{便益の現在価値}^{\ast 1}}{\text{費用の現在価値}^{\ast 2}} \\ &= \frac{346\text{百万円}}{362\text{百万円}} = 0.956 \end{aligned}$$

※1 走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益を現在価値に換算したものの合計

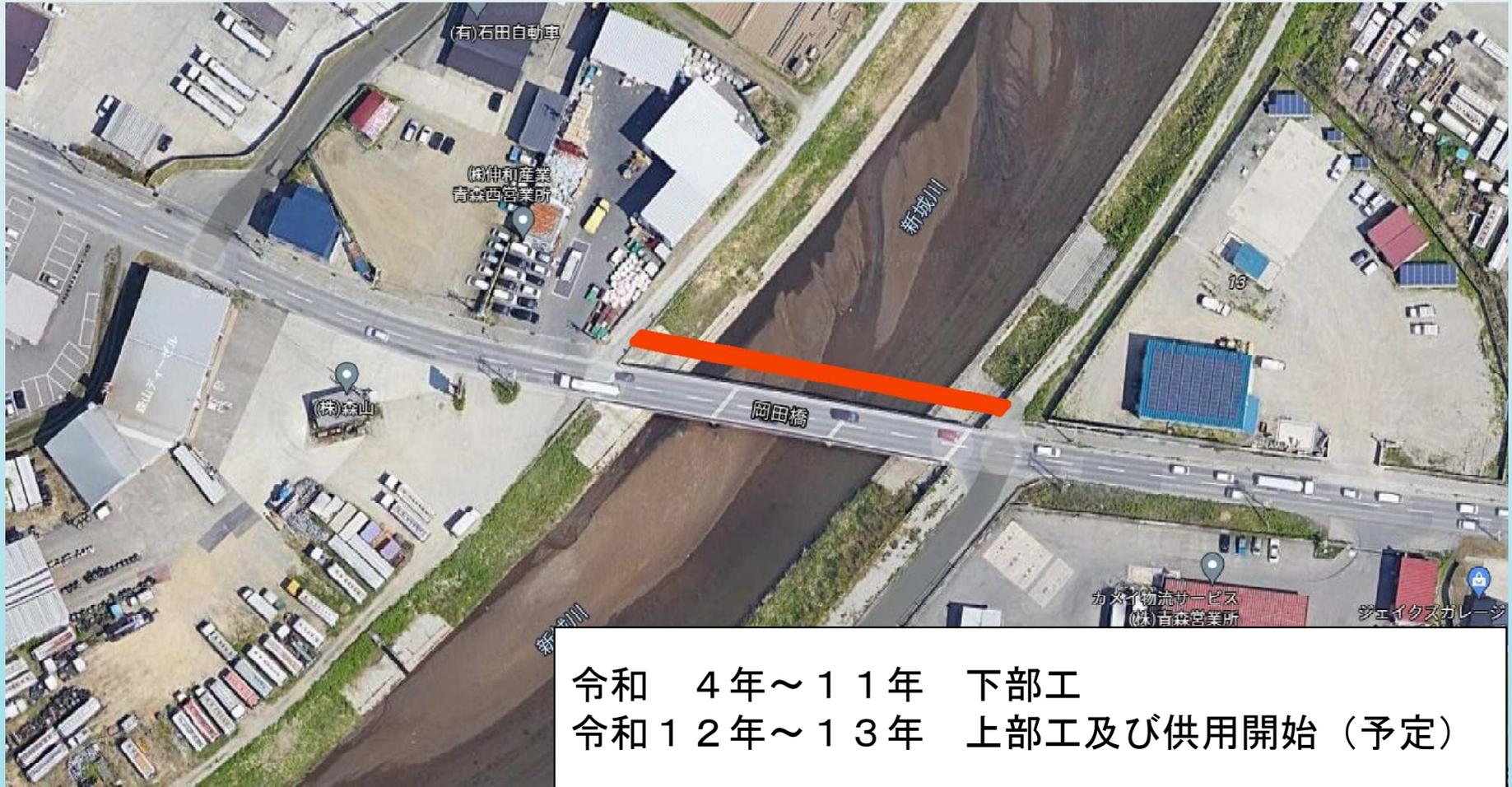
※2 建設投資額と維持管理費を現在価値に換算したものの合計

• 修正費用便益比 (B/C * α)

$$\begin{aligned} \text{費用便益比(B/C)の算出} &= \frac{\text{便益の合計} \times \text{地方生活圏別地域修正係数}^{\ast 3}}{\text{費用の現在価値}} \\ &= \frac{346\text{百万円} \times 1.404}{362\text{百万円}} = 1.342 \end{aligned}$$

※3 地域修正係数は、東京都を基準として物価水準、家賃・地代水準、所得水準等を基に算出したもの

今後の対応方針



Googleマップ使用